

- 砂川市に位置する砂川オアシスパーク(砂川遊水地)は、かつては大雨が降るたびに氾濫を繰り返してきた石狩川の洪水を防ぐため、石狩川のショートカット工事によって生まれた旧川跡を活用して、平成7年に完成した河川管理施設です。
- 地域ブランドの育成・強化や広域的観光事業を推進している砂川市では、砂川遊水地を拠点とした「砂川地区」を「かわまちづくり制度」に登録し、多目的に利用できる空間として整備するとともに、都市・地域再生等利用区域指定による地域・観光情報の発信拠点への整備に取り組んでいます。
- 令和6年、かわまちづくり整備が完成し、かわづくり、まちづくりに関わった方々の参加のもと完成式が開催されました。

かわまちづくりで地域経済を活性化



砂川遊水地エリアの概要

- 石狩川の旧川跡を利用して作られた砂川遊水地は、ヨットやカヌー等の水上アクティビティや、釣り、自然散策、野鳥観察などを満喫でき、バーベキューも可能な水辺のレクリエーションエリアです。
- キャンプ場や周遊園路の整備により、滞在型観光への展開や交流人口の増加を目指すと共に、既存施設(ウォーターヒルズスクエア)内の利活用により、利便性や発信力を高めます。
- ワカサギ釣り(1月中旬~2月下旬)
- 7月上旬 THE祭、石狩川下覧権
- 7月下旬 ラブリバー砂川夏まつり、砂川納涼花火大会
- 7月~8月 防災フェスティバル

➤ 砂川地区かわまちづくり・完成式



令和6年7月27日(土)、砂川市、オアシスパークからゆめまちづくり協議会、札幌開発建設部が連携し整備を進めていた「砂川地区かわまちづくり」が無事完成し、砂川市長や札幌開発建設部長らの出席のもと完成式が開催されました。

※かわまちづくり

国土交通省では、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す取組「かわまちづくり」を推進しています。「かわまちづくり」とは、地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各々の取組を連携することにより、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を目指す取組です。